

●●●平成29年4月～6月期 栃木県中小企業景況調査(152回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況
































D I 値
-16.3
※全国 **-14.3**

point!

県内全体の業況については、前期から持ち直しが見受けられるものの(D I 値 前期比+2.5ポイント) 低く推移しており、来期も多くの産業で見通しが悪くなっている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-4.1	-10.0	48.1	-13.3	-16.6	5.4
業況：今期は小幅な改善、来期も引き続き改善見込み (D I 値 前期比+4.9ポイント)							(↗)
建設業							
	D I 値	-15.6	10.0	55.0	-5.0	-5.0	-19.2
業況：今期は大幅に悪化、来期も悪化の見通し (D I 値 前期比-22.0ポイント)							(↘)
小売業							
	D I 値	-25.7	-55.0	25.0	-40.0	-27.5	-25.7
業況：今期は改善、来期は横這い (D I 値 前期比+11.1ポイント)							(→)
サービス業							
	D I 値	-20.4	-20.4	39.0	-33.9	-16.9	-23.2
業況：今期は改善、来期ではやや悪化 (D I 値 前期比+8.1ポイント)							(↘)

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

【経営上の問題点】

製造業

- 第1位： 需要の停滞 (34.6%)
- 第2位： 製品(加工)単価の低下・上昇難 (14.1%)
- 第3位： 製品ニーズの変化への対応 (10.3%)

小売業

- 第1位： 大・中型店の進出による競争の激化 (20.0%)
- 消費者ニーズの変化への対応 (20.0%)
- 第3位： 需要の停滞 (16.4%)

建設業

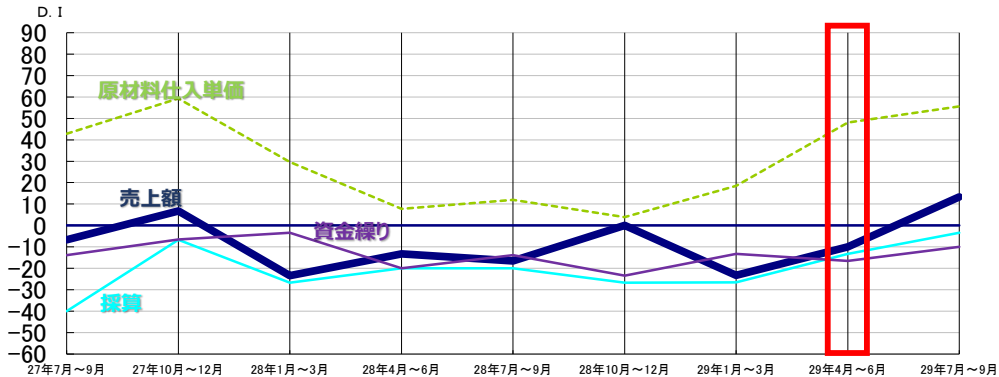
- 第1位： 民間需要の停滞 (20.0%)
- 第2位： 請負単価の低下・上昇難 (17.1%)
- 官公需要の停滞 (17.1%)

サービス業

- 第1位： 需要の停滞 (24.1%)
- 第2位： 利用者ニーズの変化への対応 (16.1%)
- 第3位： 従業員の確保難 (13.8%)

製造業

「売上額が改善、原材料仕入単価は大幅に上昇」

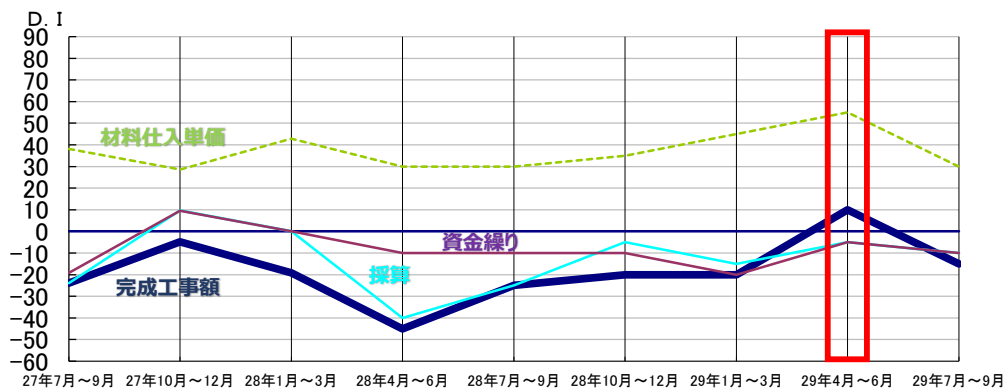


今期は、前期に比べて「売上額」が13.3ポイント(-23.3→-10.0)上昇し、来期においても23.3ポイント(-10.0→13.3)の大幅な改善を予想している。「採算」は13.3ポイント(-26.6→-13.3)の上昇、資金繰りは3.3ポイント(-13.3→-16.6)の悪化となった。

「原材料仕入単価」は29.6ポイント(18.5→48.1)上昇し、来期も7.5ポイントの上昇を予想している。

建設業

「今期の売上額は大幅に増加するも、来期は大幅に悪化」

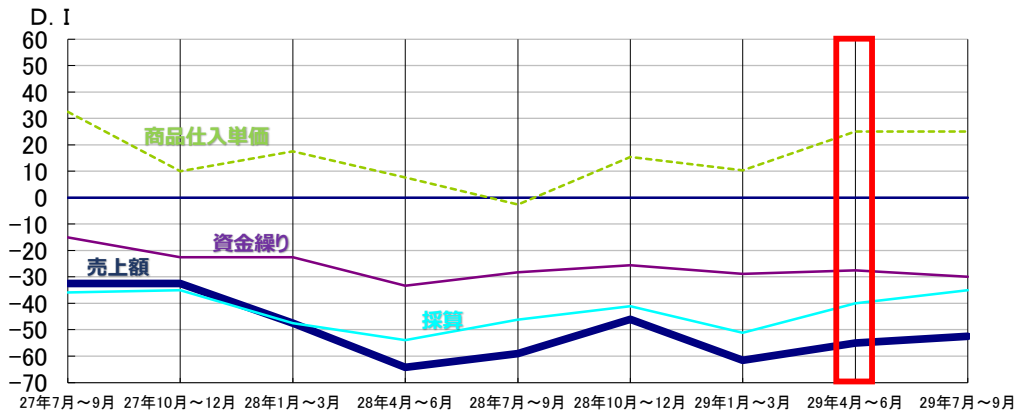


「売上額(完成工事額)」は前期比+30.0ポイント(-20.0→10.0)と大幅な改善となった。「採算」も10.0ポイント(-15.0→-5.0)、「資金繰り」では15.0ポイント(-20.0→-5.0)の改善となった。

「材料仕入単価」については、前期比+10.0ポイント(45.0→55.0)となったが、来期では25.0ポイント(55.0→30.0)の下降を見込んでいる。

小売業

「各項目で改善傾向、来期は資金繰りが小幅な悪化」



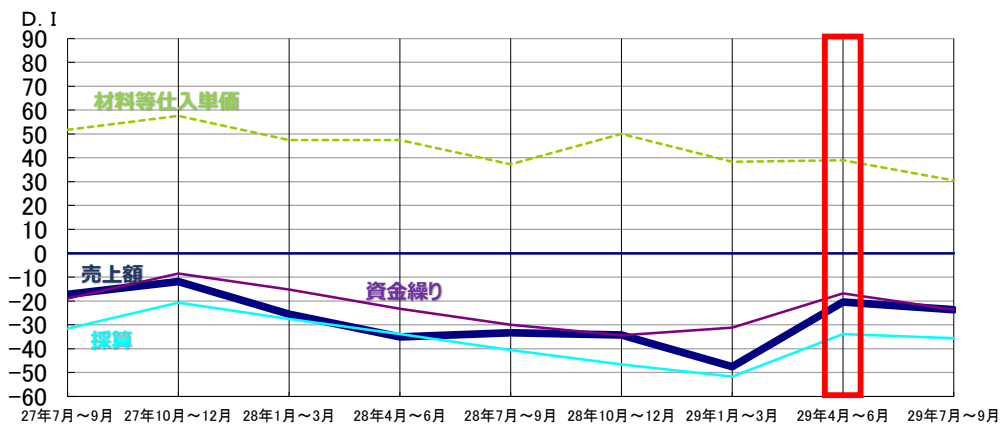
「売上額」が前期比6.6ポイント(-61.6→-55.0)、「採算」が11.2ポイント(-51.2→-40.0)、「資金繰り」が1.4ポイント(-28.9→-27.5)の改善となった。

来期は「売上額」が2.5ポイント(-55.0→-52.5)、「採算」が5.0ポイント(-40.0→-35.0)の増加、「資金繰り」は2.5ポイント(-27.5→-30.0)の減少が見込まれる。

「商品仕入単価」は今期14.7ポイント(10.3→25.0)増加し、来期も横這いと予想している。

サービス業

「売上額・採算・資金繰りで改善傾向、来期は小幅な悪化を見込む」



今期は「売上額」が前期比27.2ポイント(-47.6→-20.4)、「採算」が17.8ポイント(-51.7→-33.9)、「資金繰り」が14.3ポイント(-31.2→-16.9)の改善となった。「材料等仕入単価」では前期比0.7ポイント(38.3→39.0)上昇した。

来期は各項目で下降の傾向にあるが、「材料等仕入単価」では小幅な改善が見込まれる。

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的実施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

うつのみや市・小山市美田・那須町・上三川町・都賀町

佐野市あそ・間々田・湯津上・黒羽・那珂川町

○調査時点

平成29年6月1日

○調査対象期間

平成29年4月～6月期の実績及び、平成29年7月～9月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.0%
建 設 業	20	13.3%
小 売 業	40	26.7%
サービス業	60	40.0%
合 計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。